

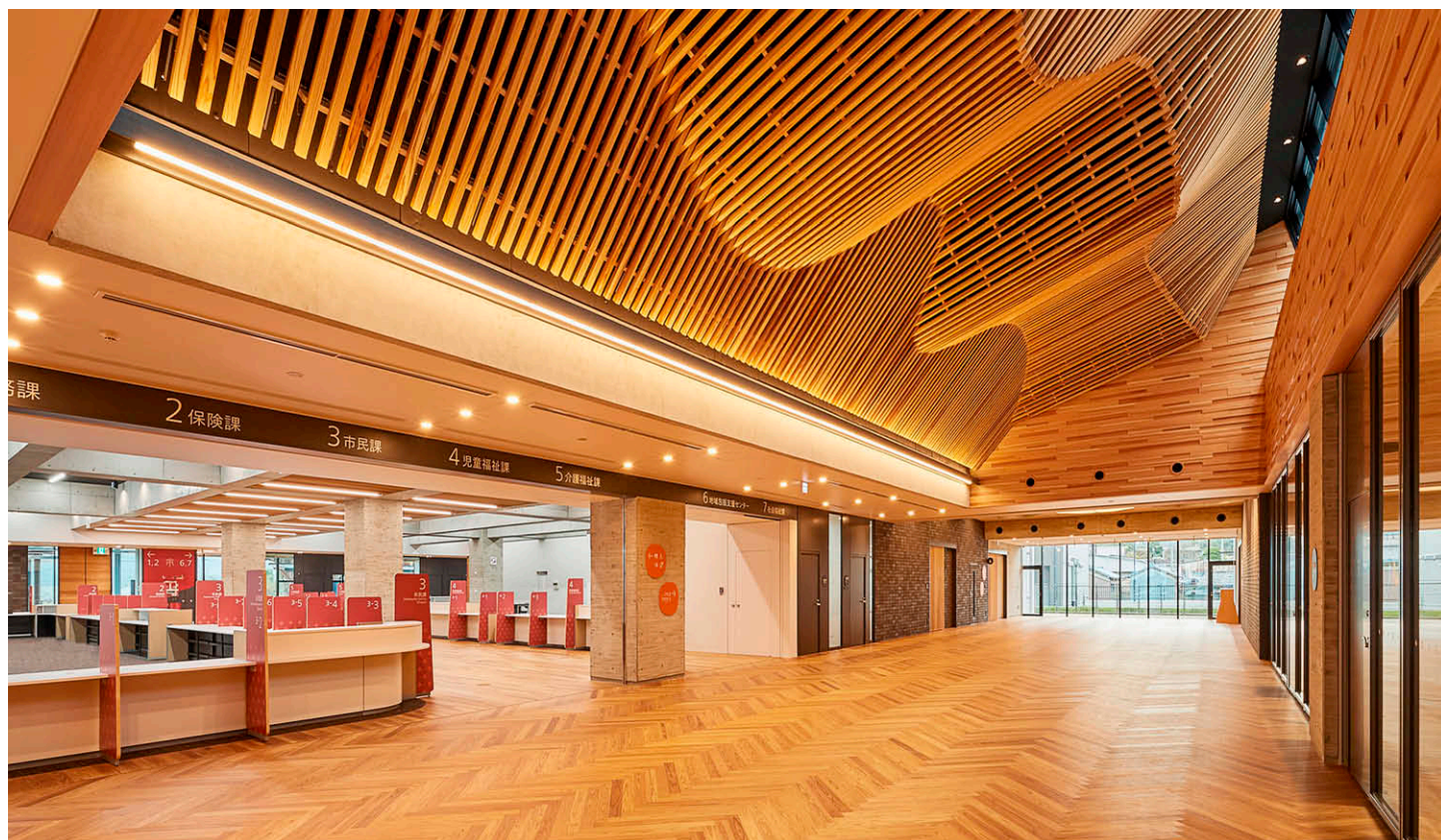
2021年10月に完成した奈良県五條市の新庁舎は、国、県、市の三施設が一体となった県内初の集約型庁舎。各種LED照明が、市民を迎え入れる五條市のシンボルとしての外観デザイン、暖かさを感じさせる木の視感、質感を積極的に取り入れた建築デザインを際立たせ、新しい文化とにぎわいを創出する空間を実現しています。

地上3階建、延床面積11,071㎡の新しい五條市庁舎。その建築デザインは、細部まで五條らしさが巧みに表現されています。外観は、透明性の高さを感じさせるガラスを主体とした外壁と、2階、3階の東側に大和五條の伝統色「あかね色」の縦ルーバーが採用されています。日没後は、庁舎からあふれる漏れ光が、ガラスを通して周囲をほんのりと照らすことで安心感を表現し、さらに縦ルーバーも漏れ光によって照らされ、五條市の

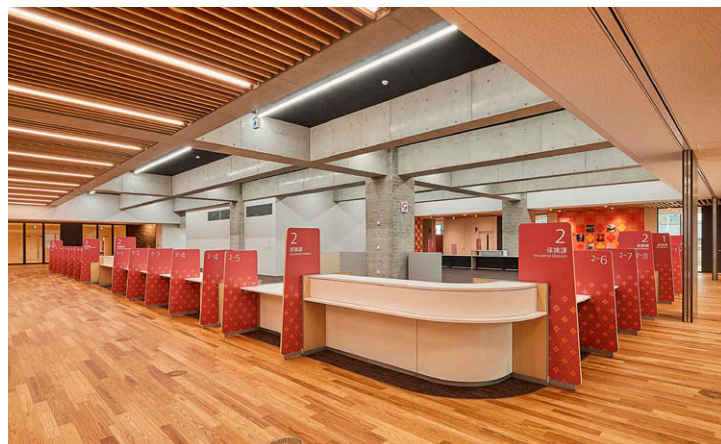


「あかね色」を美しく魅せる演出を実現しています。1階の玄関通路を兼ねた「五條モール」は、緊急時には避難所としても利用できる大空間。天井には穏やかな曲線の木ルーバーにより、五條の山々が表現されています。このデザインを最大限に活かすため、色温度3000KのLED照明で曲線を優しく照らす間接照明を採用。天井デザインに沿った陰影が暖かみのある光で表現され、立体感のある活動的な空間を創出しています。

五條らしさを巧みに表現した建築デザインを最大限に活かす照明設計。



1階 五條モール 五條の山々を表現したデザインを最大限に活かすため、穏やかな曲線を優しく照らす3000Kの間接照明を採用。



1階 待合・執務室 木ルーバーの間にLEDベースライトを配置。



3階 本会議場 天井の曲面に陰影を描くようLEDダウンライトを配置。

「照明普及賞」は2021年の表彰（2020年度照明普及賞）をもって終了し、内容を引き継いで「照明施設賞」となりました。